

No.	012	—	3001	事務事業名	ふるさと交流館運営事業	細事務事業名		公的関与	8				
PLAN	課名	産業創出課	係名	ふるさと交流館	電話番号	089-964-4414	メールアドレス	sangyosoyutsu@city.toon.ehime.jp					
	事業区分	施設の維持管理		事業運営方法	一部委託	実施計画	該当	事業期間	10年度～年度 <input checked="" type="checkbox"/> 期間設定なし				
	総合計画	政策目標	第4章 創造性と活力に満ちた元気産業のまち		政策項目	5 観光・レクリエーションの振興		主要施策	(2) 観光・レクリエーション施設の充実				
	事業の対象	入館者他				根拠法令	東温市ふるさと交流館条例						
	事業の目的	最終的	市民の健康及び福祉の増進並びに観光及び産業の振興を図ります。			今年度							
	活動内容	①	ふるさと交流館管理運営			④	地産地消の取組み						
		②	施設の維持管理			⑤							
		③	イベント開催(納涼祭等)及び他のイベントに参加(さくらの湯PR)										
	成果指標	指標名		計算式又は指標設定理由		単位	平成22年度	平成23年度	平成24年度	最終目標			
		入館者数	入館者数		人	目標	362,000	362,000	362,000	362,000			
実績					331,669	346,896							
イベント開催・参加		実施回数		回	目標	10	10	10	10				
		実績				8	8						
目標													
実績													
DO	予算費目	会計	ふるさと交流館特別会計		費目名	経営費							
	直接事業費	平成 22 年度決算		平成 23 年度決算		平成 24 年度予算		備考					
		国・県支出金	0千円		0千円		0千円						
		地方債	0千円		0千円		0千円						
		その他特定財源	0千円		0千円		0千円						
		一般財源	183,126千円		184,173千円		193,725千円						
	計(A)	183,126千円		184,173千円		193,725千円							
	人件費(B)	正職員工数・経費	1.167人	8,797千円	1.157人	6,987千円	1.157人	6,999千円					
		臨時職員工数・経費	0.000人	0千円	0.000人	0千円	0.000人	0千円					
	全体事業費(A+B)		191,923千円		191,160千円		200,724千円						
一次評価者	ふるさと交流館	総合評価点	B	必要性	3	有効性	4	達成度	2	効率性	2	今後の方向性	現状維持
項目	評価項目の説明(一次評価者のコメント)												
必要性	東温市の重要な観光拠点としては勿論、高齢者・障害者等への福祉施策を展開しつつも、安全な施設管理と、健全な経営を継続する必要があります。												
有効性	公共施設ならではの、情報発信機能を充実させつつ、温浴施設の適切な維持管理を行うことで、市内外の利用者の満足度を維持し、東温市のPRにも貢献できていると考えます。												
達成度	震災等による景気の減退により同様類似の施設や観光関連施設の入込状況は悪化しておりますが、当館においてもサービス向上対策を継続的に実施し、入館者増に取り組んでいます。												
効率性	維持管理コストについては、適切と考えますが、民間のノウハウを積極的に取り入れることで更に効果的な経営が実現できるものと考えます。												
当面の課題	開館から14年目を迎え、施設の老朽化も目立っており、経営状況は厳しいものの必要最小限の改修等は行わざるを得ません。また、開館以来据え置いている入館料についても、必要コストに見合った値上げが必要と考えます。												
改計画	現行予算の修繕費を効果的に活用し、小規模な改修を積極的に実施し、中規模以上の修繕については、来年度に向けた予算計上を検討します。また、入館料値上げについても、消費税増税のタイミングを見据えて詳細を検討します。												
二次評価者	産業創出課長	総合評価点	B	必要性	3	有効性	4	達成度	2	効率性	2	今後の方向性	現状維持
二次評価での指摘事項	施設も築後14年経過し、老朽化に伴う突発的な故障や修繕箇所の増加が多くなってきています。日常から点検診断を行い、極力突発的な故障を未然に防ぐことができるようにしてください。また、サービス向上に向けた職員の接遇研修は継続するとともに、新しいサービス等の導入を研究し、利用客増加に努めてください。												